

# 自由が丘横山内科 クリニック 院内新聞

第5号  
平成17年  
11月

平成十七年十一月十一日

当クリニックにおいて『全国糖尿病週間講習会』を開催しました。会場にはクリニックに通院されている方のほか、新聞記事をご覧になって初めてお越しいただいた方もいました。今回は「糖尿病と動脈硬化症について・当院研究結果の紹介」と題し、横山院長が講演をおこないました。講習会の前半ではDVD上映を行い、血管保護や動脈硬化症についての理解を深めていただきました。



それでは当日の講演内容を簡単にまとめていきます。

## 糖尿病と動脈硬化症

### 「当院研究結果の紹介」

糖尿病の方は糖尿病でない方に比べて4倍心筋梗塞・脳梗塞になりやすいといわれています。早い時期から定期的に通院を続ける方は糖尿病による合併症（網膜症・腎症・神経障害）を引き起こす可能性は極めて低いのですが、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化症を予防し早期発見することが重要になります。

### 「また薬が増える…」

コレステロールや中性脂肪は採血による結果が高値でも、無症状の為なかなか

「悪い」実感がわきません。医師側でも薬剤の経済的・精神的な負担を考えるとコレステロールや中性脂肪の薬は処方しづらい部分があります。しかし動脈硬化症の観点からその基準は以前より厳しくなり、LDLコレステロールは100mg/dl以下に下げることが奨励されています。

## 動脈硬化の検査

動脈硬化がどの程度進行しているのかを判断する指標としてIMT（アイエムティー…内膜中膜複合体厚）があります。これは頸動脈の超音波検査でわかる血管の壁の様子のことです、心臓・脳の大血管の様子とよく似ています。このIMTの変化が動脈硬化の進み具合の目安となります。

当院受診の糖尿病患者さんへ  
病状基礎調査を実施しております

当院では、糖尿病データマネジメント研究会に加盟し、日本の糖尿病患者さんの病状を理解するための実態調査を行なっています。この調査は、今後の糖尿病診療の向上や治療法の研究のための土台づくりとなります。そのためには、貴様方の診療データをお借りしてコンピュータ（電子カルテ）に入力し、統計的に分析する必要があります。

コンピュータに入力した診療データは、院外に漏れたり、悪用されたりしないよう、院内に情報管理者を設けて厳重に管理するとともに、データ分析の際には、氏名・住所などの個人情報削除し、誰のデータか分からないようにするなど個人情報の安全管理と保護には万全を期しますので、どうか調査へのご理解をお願いいたします。

↑当クリニックでは通院者のご協力を頂いて、様々な調査や研究などに取り組んでいます。

IMTは糖尿病でない人で年間0.005〜0.010mm厚くなります。世界中で動脈硬化についての研究が進められています。現段階では治療薬はありません。

## 動脈硬化症研究結果

当院でも昨年の春から糖尿病で治療中の一四〇名の方に協力していただき動脈硬化症の研究を行いました。

